

# 感染看護学、成人看護学

教授 森 みずえ  
Mizue Mori

## 現在の研究テーマと内容

新興感染症パンデミックの経験から、私達は感染症が人々の健康や生命を脅かすだけでなく、社会生活や生活の質に大きく影響することを目の当たりにしました。社会における損失や今後起こりうる健康障害へのリスクを少しでも減らす為、病院・在宅・施設における感染看護・感染管理について看護のエビデンスとなるような課題を探求しています。現在は、予測される次の感染症に備え、今回の経験から看護管理者が得た経験知を質的・量的に調査し、看護システム管理や教育も含め、看護の質・対象者の生活の質を高める要因を分析します。

## これまでの研究成果と今後の展開

- Experiences of patients with HIV/AIDS receiving mid- and long-term care in Japan, A qualitative study (2017)
- 重症心身障害者（児）の歯垢内日和見病原菌の検出状況を指標とした口腔ケアの評価 (2009)
- 在宅ケアにおける気管内吸引カテーテル管理方法に関する長期介入 (2010)
- 訪問看護師による要介護高齢者に対する口腔ケア技術の実態と困難要因 (2019)
- 大学職域接種におけるCOVID-19ワクチン－モデルナ筋注後の副反応と対処行動の実態 (2022)
- 新興感染症COVID-19流行下における看護管理者の困難 (2025)

現在、口腔ケア関連では、肺炎予防につながる高齢者の在宅口腔ケア支援についての調査結果を解析しています。また、新興感染症の看護・管理については、教育施設における感染教育と感染管理についての課題抽出・調査予定です。

## 大学院を目指すみなさんへメッセージ

感染看護や成人看護における専門的な患者ケア・知識・技術をまなび、看護ケアを発展させるテーマについて、ともに研究を進める大学院生を求めています。テーマについて迷っている、絞り切れない、でもこのことについて探求したい、という主題をぜひ携えてきてください。看護の発展につながるテーマと適切な研究方法についてともに考えましょう。また、働きながら学びたい人は長期履修制度の利用や履修形態を計画して相談することを勧めます。研究を通して自分を高め看護を発展させたい人を待っています。